

令和 8 年 8 月 定例理事会【議事録】

日時：令和 8 年 8 月 26 日(水) 16 時、会場：小樽港観光船ターミナル多目的ホール

出席理事：西條会長、井上副会長、久末副会長、米山副会長、斎藤理事、田中理事、橋本理事、安田理事、山吹理事、山北理事、渡辺理事、高田理事、徳満専務理事 以上 13 名

欠席理事：鳶村副会長、浅原理事、大塚理事、坂田理事、佐藤理事、白鳥理事、杉本理事、山本理事、谷口理事 以上 9 名

出席監事：米花監事、欠席監事：伊勢監事

相談役（小樽市長）：代理出席小樽市観光振興室 丸田室長

※ 22 名の理事のうち 13 名出席で過半数を超えており理事会成立

・ 会長の挨拶後 8 月の定例理事会を開始した。

【審議事項】

1 入会届 ～ 事務局から説明

① (株)フィリア、② ウスキ呉服店

➡ 2 件の入会が承認された。

2 「地域 DMO 交付金」の令和 9 年度予算に向けて ～ 専務理事から説明

(A 理事) CMO 採用後の役割分担は？

→ DMO として観光庁等への報告や来客者等の調査結果や各種データの分析、経営戦略策定などの中心人物として活躍していただく。

(A 理事) CMO として、各委員会や PJ チームとの関りは？

→ CMO に何でも任せようではなく、マーケティング戦略部会との協議を進めるとともに理事会にも報告や確認など連携を密にしながら進める。

(A 理事) 待遇面から、しっかり実行して欲しいと思う一方、DMO として結果を求められるので、業務を進めるうえでは、チームを形成して補完していく必要があるのでは？

→ 昨年度の市と DMO の役割分担や業務移行の協議の中で、来年度には事務局 1 名増の予定なので、DMO 業務を主に CMO 補助的な役割も想定。

(B 理事) 観光税の活用方法として、現段階で市と言えることは？

→ (丸田室長) 宿泊税検討委員会で議論して、市に提言いただく。宿泊税を原資にどんな事業をしたいのか、各事業者から募り、検討委員会で協議する。

(C 理事) 宿泊税が増えれば、できる事業も増えるのでは？

→ (室長) 例えば今年度以降は令和版ロマネスクイルミネーションを実施しており、ライトアップしている施設同士を面でつなぐ事業で夜の魅力づくりを推進する。

(D 理事) 基金に宿泊税の 5 %を積み立てることもきいているが。

→ (室長) 災害支出用に 1 億円まで積み立てることを想定。また、宿泊税使途

事業としてオーバーツーリズム対策を計上していたが、国補助金が2/3で入ってくるようになったので、その余剰は一度積み立てるが、翌年度の事業費に回すこととなっている。

(E 理事) 市民の理解度を深めつつ、他都市との友好関係を深めることにも使えるか？

→ 協会と市が連携して、市民理解促進事業は重要。友好関係は模索していく。

(E 理事) 人材不足解消のため、海外労働者による充足にも充ててほしい。

(C 理事) 小樽に専門学校もできたので、働きかけて取り込んでいくのも一つの方法。

(E 理事) 海外労働力の確保のためには「住居」が問題となる。例えば空き室が続いている市営住宅や道営住宅の開放も盛り込んでいただきたい。

→ 立地的に人気のところは空いてもすぐ埋まるが、空き状況が続いている祝津や蘭島、塩谷など可能かどうか、市営住宅の状況についてリサーチする。

➡ そのほか質問、意見なく終了

【報告事項】

1 月次報告（観光案内所、物販、外貨両替）：（8/21 理事に資料メール済）

～ 事務局から概要を説明

～ 特に物販については、海の日三連休がポートスクエアでのイベントもあり、来館者は多かったことや、潮まつりの三日間は昨年より来館者数が減少した要因、免税売上が前年比 131%、円安効果と分析などを報告。

➡ 意見なく終了。

～ 主要宿泊施設の状況については、7 月は好調に推移したが、8 月はお盆移行失速し、苦戦を強いられている現状のほか、10 月末のスノーマン LIVE の効果がまだ出ていない。

閑散期の宿泊税を活用した市民向けの事業について、小樽市より打診があった。

(A 理事) 閑散期の売り上げを埋める主旨ではなく、市民理解を深めるための事業なので、宿泊せずとも普段提供している食事を楽しむ機会の提供があってもいいと思う。

(F 理事) 一般市民対象ではなく、業種を飲食に絞る手もある。

→ 市の事業として公平性を想定すれば特定の業種にというのは難しいかも知れない。

(C 理事) 宿泊に好影響なイベントは JR も同様に効果があるのでは？

(B 理事) 潮まつりは物販、観光案内業務ともに昨年を下回ったが、小樽駅の乗降客数は？

→ (山北理事) 好影響はもちろんある。潮まつり期間など、詳細データは手元に用意してないが、日々多くの観光客の利用があるとが。お盆以降は極端に少なくなって来た。

➡ その他、意見・質問なく終了。

2 後援届について ～ 事務局から説明

① 第 19 回おたる祝津花火大会

② 小樽くらしたい共生フェス 2026

③ KITAUNGA DESIGN DISTRICT 2026

④ 第 4 回小樽地域遺産「塩谷・挑内」大会

⑤ 第5回済生会ソーシャルインクルージョンシンポジウム in Otaru

⑥ 松前神楽北海道連合保存会合同公演

➡ 6件の後援依頼件について承認された。

3 各事業推進活動状況について ～ 事務局から説明

1) DMO 交付金予算執行進捗について

2) 誘客促進委員会

～ 大ほっかいどう祭りの協会ブースは、目立たない場所だったが、まずまずの来客数。「つむぐおたる」の反応は薄めだったが、「小樽めし」は好調。ほおばりっちの販売も感触が良く、用意した在庫全て完売。

3) おもてなし推進委員会

～ エピソード募集は堅調に推移。美化活動も継続。参加事業者も増えてきた。

4) 情報発信委員会 & おたる観光プロモーション PJ

～ 観光ガイドブックの募集要項を作成中だが広告枠を一新する予定。YOI-TARU は今回ポートスクエアで開催。

5) 事務局

～ 潮風高校プロジェクトは参加事業者、参加者数も着実に増加。埼玉春日部市とのコラボも奏功して、スタンプラリーも好評のうちに終了。

➡ そのほか質問、意見なく終了。

4 潮まつりの出店等の販売額について ～ 事務局から報告

➡ 質問、意見なく終了。

5 物販事業の第一四半期の収支報告について ～ 専務理事から報告(改善策の一つ)

(G 理事) 昨年度実績があった方が比較しやすいのでは？

→ 次回の四半期報告時に修正対応する。

(C 理事) クルーズ船寄港が少ない、船のトン数も小さいということも影響しているだろう。

➡ そのほか質問、意見なく終了。

6 CMO の内定について ～ 専務理事から報告

・ 内定者とともに、過日メールにて総務管理マネージャーを採用し、9 / 1 付けで入社する旨を追加で報告。

➡ 質問、意見なく終了。

7 地域おこし協力隊の内定について ～ 専務理事から報告

➡ 質問、意見なく終了。

8 文科省・産学連携・スキリング・エコシステム構築事業「観光地エコシステム構築・強化のリスキリングプログラム」について ～ 専務理事から報告

➡ 質問、意見なく終了。

○ **今後の三役会と理事会等の日程について**

- ・ 三役会 令和 8 年 9 月 15 日（火）10 時 協会会議室
- ・ 理事会 令和 8 年 9 月 28 日（月）16 時 観光船ターミナル 2F 多目的ホール
- ・ 三役会 令和 8 年 10 月 14 日（水）10 時 協会会議室
- ・ 理事会 令和 8 年 10 月 21 日（水）16 時 場所未定（観光船ターミナルで調整）
- ・ 三役会 令和 8 年 11 月 18 日（水）10 時 協会会議室
- ・ 理事会 令和 8 年 11 月 25 日（水）16 時 場所未定（観光船ターミナルで調整）

以上で令和 8 年 8 月の理事会は終了した。